

海況速報

令和2年度 第3号 (通算 No.195)
令和2年8月18日
北海道立総合研究機構 水産研究本部



内容についてのお問い合わせは
中央水産試験場 海洋環境グループ
Tel 0135-23-4020
ckaiyou@hro.or.jp

7月下旬～8月上旬の海況

☆日本海海域

対馬暖流（指標：100m層水温 7℃以上）は北海道西方を順調に北上しています。対馬暖流の流量は平年並みであり、昨年12月から今年4月まで続いた流量の減少傾向は解消された模様です（*1）。

対馬暖流の流路は、積丹半島沖と雄冬岬以北の海域で暖水域が広がっているため（指標：100m層水温 9℃以上）、沖寄りになっています。

水温は、渡島半島西方の東経139度、積丹半島北西の海域で、50～100m層を中心に平年よりも2～4℃高くなっています（水温偏差表参照）。

余市における旬平均水温は、6月上・中旬は「平年並み」でしたが、7月下旬以降は「やや高い」か「かなり高い」状態で推移しています。

☆道東太平洋海域

道東沖合の北緯42度30分以南の海域では、黒潮からの暖水波及（指標：100m層水温 8℃以上）がみられます。このため、親潮（指標：50m・100m層水温 5℃以下）は根室沖からは主に南方向へ流れています。

水温は黒潮の暖水波及がみられる海域で平年よりも4～7℃高くなっています（水温偏差表参照）。

☆道南太平洋海域

津軽暖流は沿岸モード（*2）から渦モードへ移行中ですが（指標：100m層水温 10℃）、東方への張り出しは例年よりも弱くなっています。また、50m層ではえりも岬沖で、親潮由来の水塊（指標：水温 8℃以下）の間欠的な流入がみられます。

水温は200m層の津軽海峡付近で2～3℃高いのを除いて、ほぼ平年並みになっています（水温偏差表参照）。

☆オホーツク海海域

宗谷暖流（指標：50m層水温 6℃以上）がオホーツク沿岸を順調に流れています。

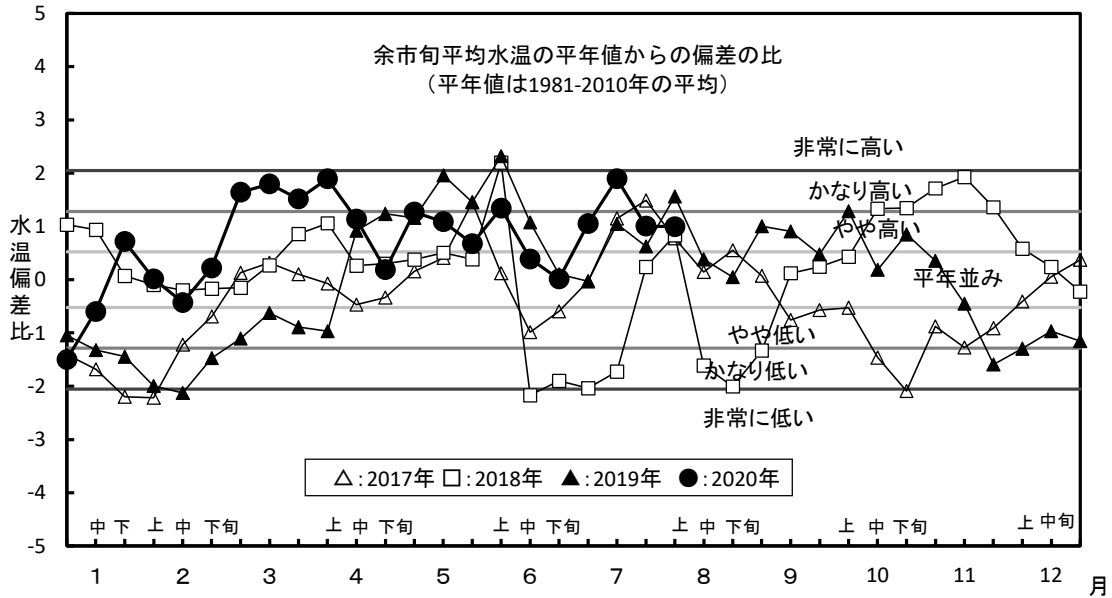
水温は宗谷暖流が流れる海域で、平年並みか2～6℃高くなっています（水温偏差表参照）。

資料	観測期間	観測海域
稚内水試（北洋丸）	2020/7/30- 8/2	（道西・道北日本海海域）
稚内水試（北洋丸）	2020/7/27- 7/29	（オホーツク海海域）
釧路水試（北辰丸）	2020/7/28- 8/2	（道東太平洋海域）
函館水試（金星丸）	2020/7/27- 7/29	（道西・道南日本海海域）
函館水試（金星丸）	2020/7/30 -8/1	（道南太平洋海域）

*1:別紙「日本海水温情報」もあわせてご覧ください

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyou/sokuhou/index.html>

*2: 津軽暖流が津軽海峡から襟裳岬まで大きく張り出してから南下している状態を「渦モード」と呼びます。これに対して、津軽暖流が青森県尻屋埼からすぐ岸沿いに三陸方面へ南下している状態を、津軽暖流の「沿岸モード」と呼んでいます。



「海況速報」は中央水産試験場ホームページに掲載しております。

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyousokuhou/index.html>

また、同サイトにて余市前浜水温がご覧になれます。

<http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/central/section/kankyosuion/index.html>

下に QR コードがあります。



令和元年4月から「調査船による定点観測データ公開地図」ページを開設しました。

<https://webgis.hro.or.jp/marinenet/mapApp/>

下に QR コードがあります。



